

「地域で子どもを育てる」～いも茶がゆと餅つきの集い(糸我地区)～

2月12日、糸我小学校の子どもたち(希望参加51名)が、糸我地区青少年育成会を中心としたたくさんの地域の人たちと一緒に、しば刈り、竹箬作り、いも茶がゆ作り、餅つきなどを行いました。

ふだんの便利な生活とは異なる、昔のくらしを体験できる貴重な機会です。これらの体験は災害避難時にも役立ちます。子どもたちは生き生きと活動し、とても楽しそうでした。

今年で32回目。「地域で子どもを育てる」取組の一環として続けられてきました。中学生や高校生、大学生もボランティアとして参加しています。最後に糸我小学校の卒業生(大学生)が挨拶をしました。(抜粋)



「小学生の頃から、田んぼの学校などさまざまな体験をさせてもらってきました。大きくなって、今度は自分が子どもたちのためにしてあげたい気持ちになりました。小学生のみなさんも大きくなったら、糸我の子どもたちや地域のためにできることをしていただけたらと思います。この行事もそうやって引き継ぎながら、ずっと続けていってほしいです。」 糸我の人々の温かさや団結力を感じる地域の行事です。



「地域とともにある学校」～初島小学校150年記念行事～

1873年(明治6年)に開校して150年。それを記念して学校行事を行いました。

長きにわたる地域の人々の学校に対する思いを大事にしたいということから、記念行事では地域と関わって学習してきた成果を発表しました。また、有田市在住の絵本作家である宮本和明氏及び書道家の川田京子氏の協力のもと、校歌をイメージした壁画をアート(図工)クラブの子どもたちが作成しました。



全校合唱に始まり、1年生は老人クラブ(明朗会)の方々に教えてもらった昔遊びを披露し、2年生は町たんけん、3年生は初島のいいところ、4年生は防災町たんけんをテーマに発表しました。5・6年生は、多様な視点からさまざまな「初島の宝」を伝えました。見に来ていた保護者や地域の方は、各学年ともメモを見ずに発表していたことに感心し、子どもたちのふるさとへの思いに感動していました。

今後も初島小学校は、「地域とともにある学校」をめざしていきます。

